

# 医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	機能的単心室と心外型総肺静脈還流異常症を合併した無脾症候群に対する当院の治療戦略の妥当性について
研究責任者	心臓血管外科 立石 実
研究実施体制	上記研究責任者が責任をもって行います。
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 2023年8月
対象者	2003年1月から2023年3月までの間に聖隷浜松病院 心臓血管外科で、無脾症候群を伴う、心外型総肺静脈還流異常症を合併した機能的単心室症に対して総肺静脈還流異常症に対する手術を行った患者さんが対象です。
研究の意義・目的	機能的単心室と心外型総肺静脈還流異常症を合併した無脾症候群の手術成績は世界的にも不良であり、当院では手術成績の改善を図るべく、2011年以降に治療方針を変更しました。その治療方針の妥当性について検討することが目的です。
研究の方法	上記の対象者となった患者さんの診療録(カルテ)から、生年月日、性別、出生児体重、診断、心臓超音波検査の結果、術式、手術時体重、手術時年齢、人工心肺使用の有無、人工心肺時間、術後合併症、カテーテル治療の有無、最後に外来通院された日、または亡くなった日のデータを抽出し、治療方針の変更によって手術成績が改善したのかどうかを研究します。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 心臓血管外科 立石実 TEL:053-474-2222(代表) 心臓血管外科外来 9:00~17:00 平日